



町内の各種団体のネットワークによる地域づくり

「いつまでも安心して暮らせる町」を目指し、①お薬手帳を町全体に浸透しよう②情報化③災害対応④生活福祉(認知症にやさしいまちづくり・ウォーキングを活用した健康づくり)の4チームに分かれて活動を行っている。

あきつほっと安心ネットワークとは・・・

安芸津地区の医療・福祉・防災等関係機関が連携して、安心して生活できる地域を目指して活動する団体です。



地域サロンにて、認知症について理解を深めるためのサポーター養成研修を実施

★生活・福祉チーム

目標：市民協働のまちづくり
自治協議会とのタイアップ
見守り・声かけ

★災害対応チーム

目標：避難場所の確認と浸透
被災箇所等の情報発信



木谷小学校にて木谷自治会防災訓練へ参加
トライアージとお薬手帳のPR

あきつほっと安心
ネットワーク

★情報化チーム

目標：各医療機関での患者
データの共有化
ホームページの開設

★お薬手帳を町全体に浸透しようチーム

目標：お薬手帳を安芸津
全体に広める



H23年12月3日付
中国新聞
ネットワークの取り組み紹介記事掲載



夏祭りでお薬イン
ジャーがお薬手帳を
PR



お薬手帳チームにてペットガ
デンの設置箇所を拡大中





広島県

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例(様式)

①市区町村名	東広島市
②人口(※1)	183,325人 (安芸津町 10,752人) 【H25.4月末】
③高齢化率(※1) (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上 20.8% (35.1%) 75歳以上 9.8% (19.2%)
①取組の概要	①お薬手帳を全体へ普及 ②各医療機関での患者のデータの共有化、ホームページ開設 ③避難場所の確認と浸透、被災箇所等の情報発信 ④認知症の理解を広め、認知症にやさしい町づくり、ウォーキングを活用した転倒予防・健康づくり
⑤取組の特徴	安芸津地区の医療・福祉・行政・自治会防災関係機関・ボランティア団体等の有志が一緒になって、「いつまでも安心して暮らせる町づくり」を目指して活動している。
⑥開始年度	平成22年度
⑦取組みのこれまでの経緯	・毎月1回定例会を行い、町内のニーズを把握、検討する。 ・地域の自主防災と連携し、避難訓練に参加して災害時の行動について寸劇を交え普及活動をする。 ・県立安芸津病院と連携し、世界糖尿病デーにウォーキング講習会、生活習慣病予防講座を行った。 ・町内の事業所、商店などにペットガーデンを配布し、町民にお薬手帳を持って病院へかかることの大切さを普及、啓発。
⑧主な利用者と人数	安芸津地区住民
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	安芸津地域包括支援センター、県立安芸津病院、町内の開業医・歯科・薬局(南海診療所、おの内科クリニック、神田医院など)、社会福祉協議会安芸津支所、女性会、自主防災、民協、住民自治協議会など
⑩市区町村の関与(支援等)(※2)	市民協働のまちづくり活動応援補助金 (平成25年度 30万円)
⑪国・都道府県の関与(支援等)(※3)	なし
⑫取組の課題	・ネットワークに参加していない組織への参加を働きかける ・町民への会の浸透
⑬今後の取組予定	ネットワークで主催する講演会や講習会で学ぶ事により、会員が講師となれるよう知識を深め、講習会等を継続していく。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	東広島市安芸津地域包括支援センター (0846-45-1653)

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。
 ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
 ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

